



▲緑川水防演習で「木流し工法」を実施する町水防団の団員たち

非常時の備えを万全に 令和7年度緑川水防演習

5月11日（日）美里町緑川補助ダムイベント広場で緑川水防演習が開催されました。同演習は、緑川流域の市町などが参加する緑川水防演習協議会が主催するもので、この訓練は大雨や洪水などの被害を未然に防ぎ、被害を抑えるために緑川流域の市町や県、国土交通省や陸上自衛隊が協力して実施。水防の大切さを広く啓発するため、毎年梅雨時期前に開催されています。



▲甲斐町長から伝達された勲記を手にする田上益男さん（横田区）

長年の功績を称えて 高齢者叙勲・旭日単光章受章

地方自治の発展に貢献したとして旭日単光章を受章した田上益男さん（横田区）に、甲斐高士町長から勲章と勲記が伝達されました。高齢者叙勲は、優れた行いのあった方などに対し、88歳に達した機会にその功績や業績を内閣総理大臣が表彰するもの。田上さんは、長年にわたり町議会議員として本町の発展に貢献した功績などが認められ今回の受章となりました。



▲「大きく育ってね」と声かけしながら稚アユを放流する甲佐小児童

緑川で大きくなってね 甲佐小3年生が稚アユ1万9千匹を放流

4月28日（月）中甲橋グリーンパークで、甲佐小学校（松崎秀誓校長）3年生22人が稚アユの放流を体験しました。サントリー九州熊本工場（嘉島町）が環境保全活動の一環として、子どもたちに水環境の大切さを伝えるために2005年から実施。児童たちは緑川漁業協同組合の協力のもと、体長3～4センチ程の稚アユ約1万9千匹を緑川に放流しました。



▲回収されたごみを分別する甲佐中学校の生徒たち

「緑川の日2025」一斉清掃 4月29日（火）は「緑川の日」

本県を流れる1級河川「緑川」で、流域住民や企業が参加して河川や周辺の一斉清掃を実施しました。本町では、家族連れなど733人が河原や河川敷などを清掃。参加者はペットボトルやプラスチック容器などのごみを拾い、美化活動に汗を流しました。回収したごみは、中甲橋グリーンパークに集められ、甲佐中生徒や町内企業のボランティアにより分別されました。



▲なるなる体操で体をほぐす西寒野老人会「元気会」の皆さん

明るく元気に長生きしよう 西寒野老人会創立50周年記念式

4月27日（日）西寒野公民館で、西寒野老人会創立50周年記念式が開催されました。同式典は、同会「元気会」創立50周年を記念して開催。地域住民など約50人が参加しました。余興では、日本舞踊やマジックショーが催され、会場は大賑わい。介護予防体操の「なるなる体操」や同会員手作りの手毬や絵画、盆栽などの展示も行われ、式典は大いに盛り上がりました。

本町への寄附企業に感謝状 企業版ふるさと納税制度

5月16日（金）町本庁舎で、企業版ふるさと納税制度を活用し、本町へ寄附をいただいた未来創造(株)（熊本市・松永浩司代表取締役：写真上）と(株)建設プロジェクトセンター（熊本市・中村建太郎代表取締役：写真下）に甲斐高土町長より感謝状が贈られました。

企業版ふるさと納税制度は、人口減少や地域経済の衰退に悩む地方創生を後押しする目的で作られた制度。本町でも今までに数多くの企業から寄附をいただき、地方創生の取り組みに活用させていただいています。未来創造(株)は、ふるさと納税事業を通じた地域活性化事業を主に行う企業で、(株)建設プロジェクトセンターは、建設や文化的景観等の土木技術コンサルタント業を主に行う企業です。

今回、未来創造(株)および(株)建設プロジェクトセンターからいただいた寄附金は、安定した「しごと」を創出する基盤づくりや関係人口の創出と定住促進などを基本目標とする「甲佐町まち・ひと・しごと創生推進計画」に基づく事業のために活用します。



▲東京甲佐会総会であいさつする岩本憲章会長

本町出身者が集い故郷を思う 第29回東京甲佐会総会および懇親会

4月19日（土）東京都で第29回東京甲佐会総会および懇親会が開催されました。

同会（岩本憲章会長）は主に首都圏在住の本町出身者などで構成され、会員相互の親睦と故郷である本町との交流や情報交換などを目的に平成6年に設立。総会では、本町にゆかりのある方々が出席し、故郷への思いを馳せつつ、交流を図りました。



▲甲斐町長から感謝状を受け取った松永代表取締役（左）



▲甲斐町長から感謝状を受け取った中村代表取締役（左）